

Yahoo! JAPAN、インテージ共同調査 「副収入」に関するアンケートを実施 ～「ネットで稼ぐ」若者は小遣い、50代は老後の備え～

2004年11月22日

ヤフー株式会社
株式会社インテージ

Yahoo! JAPAN、インテージ共同調査 「副収入」に関するアンケートを実施

～「ネットで稼ぐ」若者は小遣い、50代は老後の備え～

「Yahoo!リサーチ」のアドレス：<http://research.yahoo.co.jp/>

Yahoo! JAPANを運営するヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）と株式会社インテージ（以下、インテージ）は共同で、「Yahoo!リサーチ・モニター」を対象に、11月4日（木）～11月8日（月）までの5日間にわたって「副収入」に関するアンケートを実施しました。

<調査の概要>

調査期間：2004年11月4日（木）～11月8日（月）

調査対象：Yahoo!リサーチ・モニター

調査方法：ウェブ上でのアンケート調査

回答者数：338名（男性－165名、女性－173名）

世代別構成比：20代－26.6%、30代－25.7%、40代－23.1%、50代－24.6%

<集計結果>

- ◆ 全体の約半数（50.6%）の人は「副収入がある」と回答し、副収入を得るためにしていることとして「ネットオークション」（19.5%）、「懸賞への応募」（17.5%）、「広告メールを受信 / サイトを訪問」（11.2%）が上位となりました。

- ◆ 副収入のない人も、今後については大多数が「やってみたい」と回答していました。やってみたい理由は「自由に使えるお小遣いが欲しいから」（55.9%）がトップとなり、50代では「定年後の準備のため」（29.4%）も上位に入りました。
- ◆ 始めたきっかけは、「空いた時間を活かしたいから」（46.2%）、「好きな時間にできるから」（46.2%）、「自由に使えるお小遣いが欲しいから」（40.9%）、「楽しそうだから」（38.0%）」が上位となり、それらの次に多かったのが「本業からの収入だけでは足りないから」（19.9%）でした。
- ◆ 現在副収入を得ている人が、今後やってみたいこととしては、「ネットオークション」（38.3%）、「懸賞への応募」（31.1%）、「株式・金融商品への投資」（24.6%）が上位を占めました。このうち、20代では半数以上（53.2%）が「ネットオークション」を挙げていました。
- ◆ 副収入による月間の取得金額については、現状と希望する金額の間に開きがあり、特に専業主婦でその差が大きくなっていました。
- ◆ 副収入のない人が、副収入を得るようなことをしていない理由として挙げたのは、「時間が無いから・暇が無いから」（41.9%）と「何をしたらよいかわからないから」（31.1%）が上位となりました。

アンケート結果の詳細は以下のとおりです。

質問1-1：現在、何らかの方法で副収入を得ていますか。

	全体	男性	女性
得ている	50.6%	44.8%	56.1%
得ていない	49.4%	55.2%	43.9%

質問2-1：副収入のためにしていることは何ですか。

	全体	男性	女性
1位ネットオークション (19.5%)	ネットオークション (17.0%)	ネットオークション (22.0%)	
2位懸賞への応募 (17.5%)	懸賞への応募 (15.2%)	懸賞への応募 (19.7%)	
3位広告メールを受信 / サイト を訪問 (11.2%)	株式・金融商品への投資(13.9%)	広告メールを受信 / サイト を訪問 (9.2%)	
4 株式・金融商品への投資 位 (9.8%)	広告メールを受信 / サイトを訪問 (13.3%)	フリーマーケット (6.9%)	
5位フリーマーケット (4.7%)	広告からの収入 バナー広告・ア フィリエイト (5.5%)	株式・金融商品への投資 (5.8%)	

質問2-2：始めたきっかけは何ですか。

	全体
1位 好きな時間にできるから（46.2%）	
空いた時間を活かしたいから（46.2%）	
3位 自由に使えるお小遣いが欲しいから（40.9%）	
4位 楽しそうだから (38.0%)	
5位 本業からの収入だけでは足りないから（19.9%）	

質問2-3：今後はどのようなことをして副収入を得たいと思いますか。（副収入のある人）

全体	20代
1位ネットオークション（38.3%）	ネットオークション（53.2%）
2位懸賞への応募（31.1%）	懸賞への応募（40.4%）
3位株式・金融商品への投資(24.6%)	株式・金融商品への投資(34.0%)

4 位	データ入力（18.6%）	広告からの収入 バナー広告・アフィリエイト（21.3%）
5位	広告からの収入 バナー広告・アフィリエイト（16.2%）	データ入力（19.1%） フリーマーケット（19.1%） 広告メールを受信 / サイトを訪問（19.1%）

質問2-4：副収入による取得金額と取得を希望する金額は。（月間平均・円）

	会社員	パート・アルバイト	専業主婦
現在の取得金額	21,541	19,519	12,490
希望する金額	43,560	42,817	47,850

質問3-1：副収入を得ることをやっていない理由は。（副収入の無い人）

	全体
1位	時間が無いから・暇が無いから（41.9%）
2位	何をしたらよいかわからないから（31.1%）
3位	副収入を得るために投資するお金が無いから（16.2%）
4位	会社で禁止されているから（15.0%）
5位	面倒だから（12.6%）

質問3-2：今後やってみたいと思いますか。

やってみたいと思うが、現状ではできない	16.8%
ぜひやってみたい	19.2%
機会があればやってみたい	49.7%
やってみたいと思わない	7.8%
どちらともいえない	6.6%

質問3-3：今後やってみたいと思う理由は。

	全体
1位	自由に使えるお小遣いが欲しいから（55.9%）
2位	空いた時間を活かしたいから（37.8%）
3位	本業からの収入だけでは足りないから（30.1%）
4位	趣味・才能を活かしたいから（25.9%）
	好きな時間にできるから（25.9%）

	50代
1位	自由に使えるお小遣いが欲しいから（50.0%）
2位	空いた時間を活かしたいから（29.4%） 定年後の準備のため（29.4%）
4位	好きな時間にできるから（26.5%）
5位	将来の不安があるから（20.6%） 本業からの収入だけでは足りないから（20.6%）

【Yahoo!リサーチ】 <http://research.yahoo.co.jp/>

「Yahoo!リサーチ」は、約30万人のモニター会員を持つ、さまざまな市場調査を実施する法人向けインターネット調査サービスで、インテージとYahoo! JAPANが共同で設立した株式会社インテージ・インタラクティブ（本社：東京都東久留米市、代表者：長崎貴裕）が運営しています。モニター会員はインターネットユーザーの約8割がアクセスするYahoo! JAPANから集めら

れているので、母集団の代表性に優れています。また、年齢、性別、職業、業種、年収、家族構成など50項目にのぼる属性データを持っており、目的に応じた属性でのインターネット調査がスピーディーに実施できる仕組みとなっています。

【Yahoo! JAPAN】 <http://www.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社（市場名：東証1部、銘柄コード：4689、本社：東京都港区、設立年月日：1996年1月31日、代表取締役：井上雅博）が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約3931万人のユニークカスタマー数※と、1日10億3000万ページビューのアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティ、コマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。Yahoo!のグローバルウェブネットワークは、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アジアなど世界25の国と地域で展開しています。

※2004年10月のNielsen//NetRatings「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率84.5%、職場からの視聴率90.4%というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約4632万人（NetRatings Japan「インターネット基礎調査」より）としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。

【株式会社インテージ】 <http://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ（市場名：JASDAQ、銘柄コード：4326、本社：東京都西東京市、設立年月日：1960年3月2日、代表取締役社長：田下憲雄）は、時代に先駆けてマーケティングの重要性を認識し、1960年に設立された日本のリサーチ会社のパイオニアです。以来40年以上にわたり、各種情報収集網の拡充、データ処理体制の確立、独自の分析ツールの開発など、「リサーチ」と「システム」の二つの領域で高度な技術とノウハウをもって、顧客の経営の意思決定に関わる「価値ある情報＝インテリジェンス」を提供しています。